



# 学校便り

長崎県立長崎東高等学校

令和4年11月7日

第13号

文責 平野

## ～ 「我見」から「離見」へ ～

長崎県では、公立高校の入試制度が大きく変わり、前期選抜と後期選抜が行なわれるようになりました。

その前期選抜で重視されるのが面接です。

3年生には11月2日（水）から校長室で2回目の面接練習を行っています。

面接、誰でも緊張しますね。では、なぜ緊張するのでしょうか。

それは、人に見られるからです。今までは自分からしか世界が見えていなかったのに、今度は人から見られている自分を想像するから緊張するのです。

自分の側から物事を見ることを「我見」、他人の側から自分が見られることを「離見」と言ったのは、室町時代に能楽を大成した世阿弥という人です。

高田明氏も、「離見」を意識してTVショッピングの仕事をしていたことを、著書に書いています。

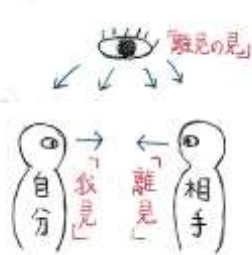


著者 高田 明  
監修 増田 正造  
出版 日経BP

幼いうちは自分からしか物事が見えません。しかし、子どもが大人になるためには、他人から自分が見られることを意識できるようにならなければいけないのです。

このことは、高校入試に限らず、大学入試や就職試験を受けるときにも役に立ち、立派な大人になるために必要なことなのです。

3年生だけでなく、中学生にはできるだけ早く、この「離見」を意識できる人になって欲しいと思います。



## 【 伝達式 】

高田氏から、「君達には本を送ってあげよう」と言われた2人に、サイン入りの本が届いたので伝達式を行いました。



「今を生きるつもりにならずに『今を生きる』」という決意を、全校生徒の前で話しました。

## 【 行事予定 】

11月

16日（水）期末テスト 1日目

17日（木）期末テスト 2日目

18日（金）県中学校総合文化祭

24日（木）保育園訪問（3-1）

25日（金）保育園訪問（3-2）

12月

1日（木）パネルディスカッション

14:00～15:30 本校体育館

5日（月）生徒会役員選挙

## 【 パネルディスカッション 】

「高校生平和大使や交流証言者と共に考える  
～私たちが創る これからの平和な世界～」

平和について、できるだけ生徒と年齢に近い方たちと共に考えます。テーマは上記。

下記はパネリスト等にお呼びする方達です。

高校生平和大使 安野 美乃里 氏

（県立長崎東高校 1年生）

交流証言者 山野 湧水 氏

（昨年、本校で被爆者に代わり講話を実施）

アナウンサー 前田 真里 氏

（ピース・バイ・ピース長崎代表 長崎平和宣言起草委員）

※高田氏へのお礼と感想に対して、お返事をいただきました。生徒達の「目の輝き」「ポジティブさ」、そして「しっかりした考え」をほめてもらっていました。